

平成17年9月7日

金融庁・貸金業制度等に関する懇談会

## 消費者金融法の現状と論点

千葉大学大学院専門法務研究科

鎌野邦樹

### 【資料】

- ・鎌野邦樹「総論 消費者金融法の現状と論点」法律時報 2005年8月号
- ・鎌野邦樹「貸金業法43条再論」消費者法ニュース 62号 (2005.1)

#### 1 はじめに

#### 2 利息制限法をめぐる立法の変遷と判例の展開

#### 3 消費者金融法制の課題

- (1) 上限金利
- (2) みなし弁済
- (3) 交付書面

#### 4 諸外国の立法例

- (1) フランス
  - ・舟橋 哲「フランスの消費者信用法制」法律時報 2005年8月号
- (2) ドイツ
  - ・角田美穂子「ドイツにおける消費者金融法」法律時報 2005年8月号
- (3) アメリカ
  - ・桶舎典哲「アメリカにおける消費者金融の概要」同

#### 5 消費者金融法制見直しの基本的な方向性

- ① 現行枠組み維持型 (43条存置・金利修正型)
- ② 旧法回帰型 (43条撤廃・二重金利存置・金利修正型)
- ③ 43条撤廃・金利一致型

#### 6 見直しの基本的視点

- (1) 法規範性 (基本的財産権保護) からの視点
- (2) 公正の確保・必要な情報提供 (消費者基本法) の視点
- (3) 適正な金利の視点
  - ・固定金利か変動金利か
  - ・刑罰金利と民事金利を一致させるべきか
  - ・政策判断としてどこに力点を置くか (国民生活・消費者保護、経済産業政策、国際化社会)